

自治会の未設立地域の取り組みについて

事例紹介

令和3年 2月：209区画の大規模分譲宅地として開発工事が開始
→ 近隣自治会と開発事業者が協議
→ 既存自治会では受け入れできないことを確認

令和5年 1月：約90戸入居 → 自治会設立に向けた関係者協議

令和6年10月：開発事業者が自治会設立に関するアンケート調査を実施
※約130戸/209戸

令和6年12月：アンケート結果
自治会設立に 賛成49 反対51 未回答25
※ あらかじめ未回答は賛成とみなす旨が記載
→ アンケートの結果、自治会賛成派が過半数（74）となった。
・ 賛成はするが役員はしない等の意見が多かった。
・ 住民のなかには自治会が開発業者が設立すると思っている人がいる。
→ 開発業者からは市・地元主導で進めてほしいとの意向

令和7年2月：第1回意見交換会を学区主催で開催

出席者：学区自治連合会長、まちづくり協議会長、学区社会福祉協議会長、民生委員、
市まちづくり協働課、分譲宅地住民（56名）

【困っていること】

- ・ 近所の人とのコミュニケーション
- ・ ゴミステーション
- ・ 災害時の対応
- ・ 学区の情報がわからない
- ・ 地域内の連絡手段がない 等

【主な意見】

- ・ 再度、自治会設立に向けて最終のアンケートを実施する方法は可能か。
- ・ 今後の進め方については市がある程度リードしてほしい。
- ・ 市からどのような支援をお願いできるか。
- ・ 市内で自治会が設立されていないところはあるか。ない場合の影響は？
- ・ 開発事業者も含めて会議をした方が良いのではないか。
- ・ 市でこれまで自治会を立ち上げた事例など把握していないか。
- ・ ゴミステーションや外灯も必要であり自治会がないと不安だと思った。今後はどうしていけばよいのか。
- ・ 自治会がどのような場かを知ってから再度話し合いたい。
- ・ 今後の展開はどうしたら良いか。次の会議の日程を決めていきたい。